



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学報

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帶性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。

2009.3.20 Vol.119



特集

祝 卒業

卒業式 学長式辞	1
学長表彰	2
実験動物慰靈祭	3
就職活動を振り返って	3



ACCREDITED
2007.4~2014.3



爽やかな風となれ

平成20年度 卒業式 学長式辞

福山大学 学長 牟田 泰三

皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご列席のご家族の皆さん、本日はまことにおめでとうございます。皆さんのたゆまぬ努力が実って、皆さんは、入学の時に定めた目標を達成し、社会で活躍するために十分な実力をつけることができました。

卒業生の皆さん、いまの閉塞感に包まれた社会を、一陣の爽やかな風のように吹き抜けてくれることを願って、「爽やかな風となれ」ということばをはなむけのことばとして送りたいと思います。

さて、いまから約1300年前に、唐の長安（現在の西安）を目指して遣唐使船に乗り込んだ19才の青年がいました。その青年の名前は、唐では「井 真成」とよばれています。

5年ほど前に、中国の西安で、日本人の墓の墓誌銘が発見されたという新聞報道があったことを覚えている方もあると思います。西安市の西北大学で、2004年10月12日に、井真成の墓誌銘が発掘されたことが発表されたのです。この墓誌銘から、井真成という日本人青年の存在が知られることになりました。

墓誌銘には次のように書かれています。「この墓に眠る人の名字は井、名は真成、日本から来た人である。井氏は天与の才に恵まれていたため、日本政府に選抜され、その命を受けて、馬を走らせて長

安にやってきた。彼は、努力を重ねて、唐の礼儀作法や風習を学び、教養をよく身につけていた。正装して朝廷に出れば、その姿は誰も並ぶ者はないほどであった。

玄宗皇帝は、井真成の死（西暦734年）にいたく心を痛められ、特別に尚衣奉御という官位を授けられ、葬儀は公葬として執り行われた。死は天の摂理であるとは言うものの、この人の場合は故郷が遠いことが悲しい。その身体は既に異国の土に埋められたけれど、その魂は故郷へ帰ってほしいものだ。」（全文は少々長いので途中省略しました。）

歴史の教科書をひもとくと、奈良時代、西暦717年に、阿倍仲麻呂や吉備真備を乗せた遣唐使船が唐に向かっていることが記載されています。この時19才だった井真成も、留学生として選抜され、大志を抱いてこの船で渡って行ったのでしょうか。

墓誌銘から判断すれば、井真成は、眉目秀麗で優れた才能を持ち、努力の結果、唐の都で並ぶものなき人材となり、玄宗皇帝のもとで重要な仕事をしていたことがうかがわれます。しかし36才で早世したために、残念ながら、阿倍仲麻呂や吉備真備のように、歴史に名を残すことはなかったけれど、日本文化の良さを唐の都に伝える爽やかな風となったことはたしかです。井真成は志なかばで倒れたと見る

こともできますが、そうではなくて、唐の都で学ぶべきことを人並み以上に学び取り、すでに皇帝のもとで仕えるという重要な任務に就いていた訳だから、志は充分に遂げていたと見ることもできます。晴れて日本に帰国することができなかつたのは残念ですが、唐の都に一陣の爽やかな風を送り込んだ日本の青年として、唐の都の人々の記憶に長く残ったことでしょう。

この会場にいる皆さん、丁度、井真成が大志を抱いて遣唐使船に乗り込んだのと同じ年頃に、福山大学に入学して、本学の教育理念である「人間性を培う教育」のもとで努力を積み重ね、めでたく本日卒業することになりました。皆さんのが社会に出て、福山大学で得たものを、余すところなく發揮してくれるならば、福山大学から社会に向けて、爽やかな風が吹き渡り、出口の分からぬ不況の中にある社会を、大きく変える原動力になることができると思います。

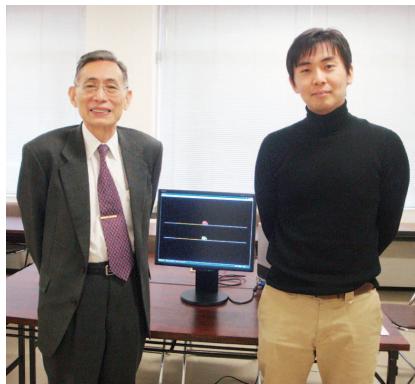
福山大学では、今年から、卒業生のホームカミングデーを行うことにしました。秋のホームカミングデーの時に皆さんとまた再会し、皆さんのが社会での活躍の様子を聞かせてほしいと思います。

皆さんのこれから活躍を心から願って式辞を終わります。

平成21年3月20日

平成20年度 学長表彰

学業部門 人間科学研究科 心理臨床学専攻 岡崎 善弘



パソコン画面では、2本の走路上を自動車が走っています

人間文化学部心理学科を基礎として人間科学研究科心理臨床学専攻がでてわずか2年。最初の修了生が、学業部門で学長賞を受賞しました！写真右の岡崎善弘君です。並んで写っている渋い紳士は？なんと牟田学長ではありませんか。岡崎君の心理的時間の研究には、学長をはじめ福山大学のたくさんの教職員の方が参加してくださいました。感謝！2台の自動車が走るアニメーションを見てもらい、どちらの自動車が長い時間走ったのか

判断してもらうという簡単な作業です。でも、頭の中の情報処理のメカニズムはなかなか複雑です。彼は、新説を提案して実験し、すでに2本の学術論文を出しました。

これから、行き詰まりも挫折も経験するでしょうが、その時、この学長賞が、学長の信条の“Never Give Up！”のための心の支えになってくれるといいな、と思っています。

人間科学研究科長 松田 文子

スポーツ部門 経済学部

経済学科 藤本 貴文

藤本君は、4年間のサッカーチームでの活躍が認められ今年度の学長賞を受賞しました。1年次からレギュラーを努め、チームの中心選手として全日本サッカー選手権など数々の全国大会に導いてくれました。

4年次はキャプテンとして100名もの部員をまとめ、チームの意識を「戦う集団」へと改革し、全広島サッカー選手



福山大学サッカー場にて

権に優勝。7年ぶりに天皇杯全日本サッカー選手権に出場することができました。

また、個人としても大学の地域選抜による全国大会「デンソー

カップ」に中国四国選抜選手として出場するなど顕著な活躍をしております。

チームのため、大学のため4年間走り続けた素晴らしい人物です。後輩達に対して多大な影響を与えてくれた彼の功績は本当に賞賛に値します。

今後の更なる活躍を期待しています。

経済学科 准教授 吉田 卓史

文化部門 経済学部 国際経済学科 趙 文岐

趙君は1年次から常にトップクラスに位置し、日商簿記検定2級や建築経理事務士2級をはじめ、多数の資格試験にも合格しています。卒論のテーマでは「日・中会計制度についての比較研究」と題し、きわめて優秀な論文に仕上げました。また、留学生たちの悩みを親身になって聞き、問題解決に至るまで手助けをするので、人望も厚く、3年次には留学生会会长を務めました。そして大学祭をはじめ、さまざまな行事を企画し、成

功させることによって、留学生会の地位を確固たるものにしたことは大きな業績といえるでしょう。さらに、2007年の「外国人留学生による日本語スピーチコンテスト」では最優秀賞を獲得するなど、学外でも各方面の行事に参加し、優れた業績を残しています。そして進路も地元優良企業の自重堂に内定しました。

今後もこのような学生が増えていくことを願っています。



2007 外国人留学生による日本語スピーチコンテスト

税務会計学科 准教授 許 露

平成20年度 学生表彰者一覧 [学長賞]

部門	学部/研究科	学科/専攻	氏名
学業	人間科学研究科	心理臨床学専攻	岡崎 善弘
スポーツ	経済学部	経済学科	黒田 真司
スポーツ	経済学部	経済学科	藤本 貴文
スポーツ	人間文化学部	人間文化学部	大下 耕平

部門	学部/研究科	学科/専攻	氏名
スポーツ	工学研究科	生命工学専攻	正木 彬
文化	経済学部	国際経済学科	趙 文岐
文化	人間文化学部	人間文化学部	井上 奈美
社会活動	人間科学研究科	心理臨床学専攻	濱本 有希

実験動物慰靈祭

平成20年度(第24回)福山大学実験動物慰靈祭が11月27日、実験動物慰靈碑前広場にて執り行われ、宮地尚理事長、牟田泰三学長ならびに薬学部、生命工



第24回実験動物慰靈祭

学部から多数の教職員・学生が参列しました。

本学における生命科学の研究は、両学部ならびにグリーンサイエンス研究センター(ハイテククリサーチ研究の拠点として文部科学省認可)において精力的に行われており、環境や健康の質の向上を目指した研究で多くの成果をあげています。これらの研究活動を支える施設として、実験動物センターの役割はますます重要になっていくものと考えられます。

生命科学の研究では、動物実験は避け

て通ることはできません。福山大学では「実験動物委員会」を設置し、動物飼育環境ならびに動物実験実施の適正化(動物虐待の防止、生体実験から細胞レベルへの実験への実験系の変更など)を目指して努力しています。

この機会に改めて「生命の尊厳」に思いを致し、生命科学の発展を支える実験動物に対する愛護の精神を再確認したいと思います。

薬学部 教授 塩見 浩人

平成20年度就職活動を振り返って

激変! 学生をとりまく就職環境

平成20年度の就職状況を振り返ってみて、この一年はまさに激変の年だったとつくづく思っています。ここ数年はいわゆる団塊の世代の大量退職時期にあたり、企業の積極的な求人活動、また就職活動の早期化とも相まって、就職内定率が昨年より上回る好調なすべり出しを見せました。しかし、アメリカで発生したサブプライムローン問題をきっかけとして、世界の金融・経済状況が急速に悪化し、日本経済も深刻な影響を受けることになりました。そのため、夏休み以降、就職環境は一変して厳しいものとなり、内定取消しという大きな社会問題を引き起こすまでになっています。

本学においても、その影響を受け、夏休み以降、内定率が前年より5～10%低くなるという状況が続きました。また、数名ですが、内定取消しやそれに近い状況となった学生もいます。このような就職状況に対して、本学では、就職委員会を中心各学部・学科が連携し、教職員が一丸となって就職指導・



学内合同企業説明会

支援を行ってきました。また内定取消しを受けた学生に対しても迅速に対応し、きめ細かい指導を行ないました。1月末の時点での内定率は約85%で、残念ながら、昨年より7ポイント近く下回っていますが、学生諸君の弛まぬ努力と就職委員やゼミ担当の教員による懸命の指導の結果、内定率は着実に上がっています。

来年度以降、就職環境はさらに厳しいものと予想されています。このような状況のもと、就職ガイダンスをはじめとする就職指導・支援体制の一層の

充実に向けて改善と改革を進めていかなければならないと、気持ちを引き締めています。

おわりに、本学をめでたく卒業される4年生諸君に心からのお祝いを申し上げます。4年生の諸君は、この就職環境の激変の中、就職活動に全力で取り組んできました。その困難に挑戦し克服する強い意志を持ち続け、これからも新しい世界に向かって歩み続けて欲しいと願っています。

就職委員長 西原 晃

学内人事

【職員】

◎退職
学生課長

中村 千晴
(12月31日付)

◎兼務
学生課長

阿南 達子
(1月1日付)

編集後記

今年度も学生の活躍がめざましく、学業、文化活動、スポーツ、社会活動へと幅広い活動を行っています。中には全国大会に出場し、勇名を馳せた者もいます。すでに学報で紹介した者もその栄誉を称えて再度紹介しています。卒業生の今後の活躍を期待します。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213